



学



校



便



り

第20号
since2006

久田学園佐世保女子 高等学校
H20(2008).6.27 [平成20年度 第2号]

歓迎遠足 & 球技大会



～歓迎遠足～

ゴールデンウィークを目前に控えた4月26日(土)、歓迎遠足を実施しました。天気は曇りで、暑くも寒くもなく絶好の遠足日和となりました。

まず弓張岳中腹まで登り、その後日野方面へ下って鹿子前の「西海パールシーリゾート」へと到る約3キロほどのコースとなっています。学校を出発するといきなりの坂道。休憩地点まで曲がりくねった道が続きます。小休止の後は、急坂をひたすら下ります。道が平坦になり始めると車の通行量が増え、大きな通りに出ます。しばらく進むと



潮の香り。波の音とともに白く優美な遊覧船の姿が見え始めました。到着です。上がったりの行程でしたので、少し苦戦が予想されていましたが、友達や先生達とワイワイ楽しく歩いたおかげか、予定よりだいぶ早く着くことができました。

それから歓迎式典・ゲーム・クラスの出し物を行いました。あるクラスは、現在テレビで人気の「羞恥心」を歌とダンスで熱演。まさに“羞恥心”をかなぐり捨てての出し物は、汗と涙がにじむ? くらいの練習の賜物(たまもの)だったのではないのでしょうか。

その後、お弁当やレクリエーションを楽しみ、水族館・ドームシアターを見学し、最後は「来た時よりも美しく」の精神で、「西海パールシー」敷地内のごみ拾いをして解散となりました。施設も心もピカピカになり、大満足の日でした。

～球技大会～

6月7日(土)、本校グラウンドと講堂において、球技大会を実施しました。種目は“ソフトバレーボール”と昨年から取り入れている“フリンゴ”です。

“ソフトバレーボール”は、柔らかいボールを使う以外はバレーボールとほぼ同じルールで行われました。名前はソフトですが、鋭いサーブが打ち込まれたり、ラリーが続いたりとなかなかハードな局面もあり、盛り上がりを見せました。“フリンゴ”はドイツで生まれた新しいスポーツで、日本での競技人口は約3,000人と言われているようです。水着素材の前掛けを首から下げ、ピンポン球大のゴムボールをその前掛けでバウンドさせて打ち合います。これが簡単なようでなかなか難しく、2・3度バウンドさせただけで、すぐ地面に落ちてしまいます。バレーのようにコートを挟んで対戦するのが正式のルールらしいのですが、技術的な面から今回は断念。輪になってバウンドさせた回数を競いました。

各競技とも珍プレー続出でしたが、その分楽しく和気あいあいとして、親睦の輪を広げるのに大いに役立った球技大会でした。



「長崎っ子の心」を

5月30日（金）及び6月17日（火）～20日（金）までの計5日間、「長崎っ子の心を見つめる」教育週間として、地域や保護者の皆様に学校を開放し様々な取り組みを行いました。以下、主なものをご紹介します。

《大久保小学校との交流事業1》



毎年恒例となっている大久保小学校2年生の子供たちとの「おもいの交流」です。今回は芋の苗植えにチャレンジ！！前日までの雨の影響で、畑はグチャグチャのぬかるんだ状態で、足を地面にとられ靴が抜けなくなるというハプニングもありましたが、



順調に作業を進めることができました。本校の生徒は、出迎え・苗植え・見送りとなかなか良きお姉さん振りを発揮していました。大久保小学校の皆さんも、高校生のお姉さん達の言うことをしっかり聞いて、みんな素直で良い子でした。みんなで協力して、仲良く植えたお芋たちです。しっかりと大きく実らない筈がありません。また、この日には吉田俊道様をはじめ「大地といのちの会」の皆様にも、お手伝いいただきました。強力な助っ人を得て、秋の収穫がますます楽しみになってきました。これから雑草取りや水やりなどきちんとお世話していきましょう！！

《講演会～カルビー・スナックスクール》

株式会社カルビーより講師の方をお迎えし、“身近なスナック菓子を考えよう”をテーマに講演会を実施しました。全国各地の小学校で「スナックスクール」という特別授業を行っているとのことでしたが、食育に取り組んでいる本校のために、今回は



高校生・一般向けの講演として特別にプログラムを組んでいただきました。面白そうなテーマということもあって、生徒や保護者に加え多くの方が詰め掛けてくださいました。

内容としては「お菓子は食べる量と時間を守って食べよう」ということでした。生徒が実際にポテトチップスを使い、一日に食べている量を量ります。あっという間にボールが満杯になり、その重さは79グラム。「果たして多いのか少ないのか」というところで、一日に食べて良いお菓子（ポテトチップス）の量が35グラムと発表されました。その瞬間、会場はどよめきと笑顔に包まれました。その後、35グラムのお菓子が入ったボールが会場にまわされると、生徒は口を揃えて「少ないー」と驚きの表情でした。今回の講演を通じ、お菓子を食べるルールをきちんと守れば、決して害になるものではなく、むしろ心や体を豊かにしてくれるものだ実感しました。現在を生活している生徒本人自身ももちろんですが、将来、子供や家族の健康を考えることができる母親になる第一歩となって欲しいと思います。

《公開授業～茶道》



本校では「日本人の心を大切にする教育」ということで様々な取り組みを行っています。

茶道もそのうちの一つで、精神の集中と思いやりや感謝の心の育成を主な目的としています。4月に始めたばかりの1年生の授業であったため、まだ動きがぎこちなくバタバタしたところも多々見受けられました。研ぎ澄まされた感性で心静かにお茶を点て、いただく…という境地にはまだまだ程遠い段階ですが、卒業する頃には“千利休”顔負けの立派な茶人に変身していることでしょう。大いに期待しています！！

見 つ め る 」 教 育 週 間

《公開授業～装道》

装道の授業では、日本古来からの礼儀作法、立ち居振る舞い、着物の着付けなどについて学んでいます。毎年冬には日頃の成果を発揮すべく「きものコンクール九州大会」に出場しており、以前には3位入賞の実績も残しています。今年は是非とも、九州大会を突破し、初の全国大会出場を成し遂げてほしいものです。



公開授業には、佐世保市教育委員会より鶴崎耕一教育長をはじめ3名お見えになり、「伝統文化を継承していくことの意義や大切さ」等について声をかけてくださいました。生徒たちも自分たちが学んでいることについて、改めて自信を深めたのではないのでしょうか。

《公開授業～ロングホームルーム》

ロングホームルームは、今春改装したばかりの「さくらルーム」で実施しました。7月25日に行う“食アレンジメントコンテスト”についての概要説明です。昨年のコンテストの様子を映像で見たりルール（予算：2000円、1班：3～4名など）やテーマ（魚介を使ったオリジナルランチ）の発表がありました。その後は、早速各班に別れて材料や献立について研究



開始です。毎年、**いろいろな意味?**で「アッ」と驚くメニューが登場しています。今年は何のような作品が出来上がるのでしょうか?各班の練りに練った、磨きに磨き上げられたメニューのお披露目まで残り一ヶ月。食べる先生方も**いろいろな意味?**で期待して待っています。

《大久保小学校との交流事業2》

大久保小学校の「心がふれあう交流会」の一環として、4～6年生10名を、本校に招き「浴衣の着付け体験」を実施しました。本校の生徒がこの日は先生として、小学生の皆さんに着付けていきます。それぞれカッコ良く浴衣姿に変身した後は、礼儀作法のお勉強です。「もっと指先を伸ばして」「箸の持ち方はこう」など、なかなか厳しい高校生の先生方でした。同じことを装道の先生方に注意されていたような気がします。しかし皆さんの丁寧で一生懸命な姿に免じて、この日ばかりは忘れることにしましょう。



最後には仲良く記念撮影を行いました。どんよりとした梅雨空をよそに、ここだけは華やかで、一足早く涼やかな夏の夜風が吹き抜けたようです。爽やかな時間をみんなで過ごすことができました。



今回の「長崎っ子の心を見つめる」教育週間には、地域の皆様、保護者、大久保小学校の先生をはじめたくさんの方々にご来校いただきました。生徒の皆さんには、

今回来られなかった人を含め、多くの大人が愛情を持ってあなた方を見守っていることを忘れないでほしいと思います。どうぞ安心して、勉強やスポーツ、充実した高校生活を送ってください。

またお忙しい中、足をお運びいただいた皆様方、ありがとうございました。何度もお越しいただいている方も初めての方も、当校の様々な取り組みについてご理解くださいましたら、幸いです。今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願いたします。

新聞 & テレビで紹介されました

長崎新聞が月に1度発行している地域情報誌「JAM」に、校長先生のインタビューが掲載されました。その内容について、紹介します。



Q:時代とともに感じる食への思いは？

「私たちの子供の頃は何しろ空腹の時代でした。学校から帰ってくると草取りに出かけるんです。おやつ代わりにペンペン草もカヤの白い根っこもかじりました。“**食**べる**こ**とが**生**きる**こ**と”で好き嫌いをする余裕もない。いつでも好きなものが食べられ、食べ残しを許す今とは大違いです。

一方、国内の食料自給率は40%を切っていて、食の安全や天候不良で輸入もままならない。私は“食”について真剣に考えなければならぬ、ちょうど良い時期が来たと感じています。」

Q:校内での食の取り組みを

「昭和56(1981)年から続いている“スクールランチ”は本校独自の取り組みです。週3回、生徒が当番制で調理した温かい食事をみんなで食べ、卒業する頃には全員が料理上手になっています。

食事は生涯かわること。温かい食事をつくるお母さんの存在は、子供の成長にも影響します。心の尺度を測るのは難しいけれど、温かい食事は情愛を育てる礎になる。それは**市場原理や数値目標で育つのではなく、真面目な日々の営みの中にある**と

思います。それを実践する“真面目で愉快的な学校”が私の理想です。」

Q:大切にしたいことは？

「“箸の持ち方”を入試に導入したのは、そこから子供たちの生活が見えてくるからです。最近、テレビのグルメ番組には心がありません。出演者の“箸使い”もまずい。私は、全国のテレビ局に食文化向上キャンペーンと称して苦言を呈したほど。日本人が本来大切にしてきた感謝の心、礼道はどこにいったのか。

修学旅行で海外を訪ねるのも日本を外から見つめてほしいから。多くの生徒が“ヨーロッパの夜は暗いなぁ”と言います。日本も昔はそうでした。夜、静かに思索する時間も必要です。失われつつある日本人の魂を日本人として大切にしていきたい。」

6月26日、長崎文化放送(NCC)のスタッフの皆さんが、取材のため来校されました。世の中での“食育”への関心が高まる中で、本校の“食”に対する特長な取り組みが、テレビ局の方の興味を惹きつけたのではないかと思います。スクールランチや、箸の持ち方などの礼法を熱心に取材されていました。



生徒たちも、カメラやマイクを向けられ緊張もあったかとは思いますが、めったにできない経験で、束の間の女優気分を楽しんでいるようでもありました。この日収録された模様は、**7月4日(金) 9:55~の『はなきん』**で放送されます!

オープンスクールは7月25日(金)です。



~食アレンジメントコンテストも同時開催!!~

今年も中学生対象の『オープンスクール』を実施します。昨年と同様『食アレンジメントコンテスト』も同時開催。中学生の皆さんには、本校の生徒がつくった料理を試食・審査してもらいます。今年のテーマは**“魚介を使ったオリジナルランチ”**。当日港にあがった様々な魚介を使用しますので、何が出てくるかはその時にならなければわかりません。突然何かのお魚を見せられ、瞬時にレシピを考えて、調理しなければならないとなったら、現役のお母さんでも大変なことではないでしょうか。それに挑戦するのですから、中学生の皆さんには、ちょっとだけ甘めの審査をお願いできれば・・・と思います。他にも「学校紹介」「華道体験」など面白くて楽しい内容となっています。参加者の皆さんが帰る頃には、心もお腹もいっぱいになっていることでしょう。ぜひお気軽にご参加ください!!

